

## 角田市総合教育会議 会議要旨

会議名	令和5年度 第1回角田市総合教育会議
開催場所	角田市役所301会議室
開催日時	令和5年12月21日(木) 午後3時～午後3時40分
出席者	13名(別紙のとおり)
事務局	総務部企画デジタル課
<b>(次第)</b> 1. 開会 2. 開会あいさつ(市長) 3. 協議 (1) 学校給食費の無償化等について (2) 角田市立小中学校の不登校の現状と課題及び対策の方向性について 4. その他 5. 閉会あいさつ(教育長) 6. 閉会	
<b>(会議要旨)</b> 3 協議 <b>(1) 学校給食費の無償化等について</b> 説明者：黒須市長 説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。(説明要旨省略)  <b>協議要旨</b> ・大変すばらしい取り組みであり、ぜひ進めていただきたい。 ・財源がふるさと納税ということだが、今後10年はどのような見通しなのかお伺いしたい。 →学校給食費無償化の財源としては子ども子育て未来基金を活用しながら実施していく。令和5年度末の基金残高は9億2000万円ほどになる見込みである。事業費としては年間約1億円を見込んでおり、第6次長期総合計画最終年の令和13年度までは実施可能と見込んでいる。 ・義務教育の給食費用については国で負担すべきと考えている。市町村ごとに有償・無償で差ができてしまうのは国家としての基本的な考え方に誤りがあると思っている。給食を含めた教育にお金をかけられる国になってほしい。そういう意味で角田市が給食費を無償化する取組については非常に良かったと思っている。 ・子どもが不登校だから給食費を払いたくないという家庭があったときに、さらに子どもが学校に行きづらくなることも考えられる。学校給食費が無償化となれば、すべての子どもが同じ状況になるので本当にいい政策だと思う。	

## (2) 角田市立小中学校の不登校の現状と課題及び対策の方向性について

説明者：永井教育長

説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。(説明要旨省略)

### 協議要旨

- ・子どもが不登校になる原因は必ずあると考えている。学校は楽しいと思えるような学校作りをしてもらいたい。
- ・資料を見るといじめが原因の不登校の子どもの数が0（ゼロ）となっている。本当かと思っている。原因をしっかりと究明しない限りはその対策の取りようがない。不登校となった理由が何なのか掘り下げていく必要がある。
- ・不登校になる兆候のある人を早く見つけて、そのような人たちに対して重点的に不登校にならないような対応することが非常に重要である。
- ・不登校が増えてきた原因はコロナによって休むことへの抵抗感が少なくなったことが要因という印象を持っている。
- ・義務教育を受けさせることは親として大切なことだが、それが家庭の中で子どもに伝わっていない現実がある。
- ・不登校になりそうな子どもに早めに対応するにはやっぱり人員が必要だという認識を持っている。そういう子どもに対応するために支援センターでしっかりとケアしていくのは非常に良い。
- ・角田市では学びって楽しいということをスローガンに掲げて、学校を楽しくしようと、楽しい授業をしてほしいと学校にお願いしている。全国的な調査によると角田市の子どもたちは学校が楽しいと答えている子は80%を超えており、非常に前向きに考えている子どもが多い。しかし、残りの10数%はそう思っていない現状がある。子どもたちを惹きつけるような学校にするためには先生方に余裕がないとそういうところにエネルギーを注ぐこともできないし、子供たちと向き合う時間も少なくなってしまう。少しでも先生方に余裕が生まれるように取り組んでいきたい。

## 令和5年度第1回角田市総合教育会議出席者名簿

### ○会議構成員（5名）

市長	黒須 貫
[教育委員会]	
教育長	永井 哲
教育長職務代行者	安藤 正夫
教育委員会委員	大内 啓邦
教育委員会委員	加藤真由美

### ○事務局関係（8名）

教育次長兼教育総務課長	齋藤 修
企画デジタル課長	木村 信幸
教育総務課子ども支援専門監	磯村 直美
給食センター所長	太田 知子
教育総務課課長補佐	目黒 知子
企画デジタル課課長補佐	森 敦
企画デジタル課企画調整係長	佐々木愛子
企画デジタル課主査	菊地 浩文

(敬称略・順不同)